
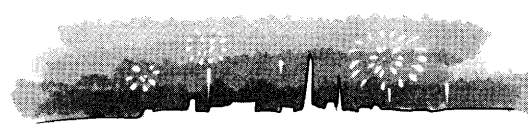


伊豆高原

宮坂静生



噉<sup>ひ</sup>がどすつと弾みて伊豆へばった跳ぶ  
平ら走る電車滑るよ穰晴  
伊豆はひかり長須鯨を憶ひをり  
鬼頭魚<sup>い</sup>の眼思<sup>ら</sup>ひ出すたびかなしかり  
大室<sup>お</sup>山の秋の嫩<sup>わ</sup>草<sup>か</sup>褥<sup>ま</sup>なす  
大室山未生以前の星月夜



源丘とリフトに秋の火口壁  
はじめから芒思ひに納まれり  
句会爽やか岩脈はマグマ道  
式根島まで秋の海歩けさう  
流さるるほどの咎なき鱚かな  
秋の茶畑なまけ知らずの獣たち  
吊橋の向かうに秋の象さがす  
中里結十月櫻讚へ逝き